

## 自己点検・自己評価項目

学校法人平成医療学園  
横浜医療専門学校

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

## 1. 教育理念・目的等

		評価
1	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2	1-2 学校の特色は何か	5
3	1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
4	1-4 理念に基づく教育が行われているか	5

## &lt;現状・具体的な取り組み／課題&gt;

「将来の国際的人材の育成」を目指し、専修学校等の高等教育機関への入学を目標としている。  
日本の社会生活に順応できるような語学力のみならず、日本の文化、習慣、マナーを身に付けてもらい、日本人とのコミュニケーション能力の醸成を促している。  
進学を希望する学生においてはグループ内に医療系の大学・専門学校を有する強みを生かし、進学をサポートを行っている。

## 2. 学校運営

		評価
5	2-1 運営方針は定められているか	4
6	2-2 事業計画は定められているか	4
7	2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
8	2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
10	2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	3
11	2-7 危機管理体制は整備されているか	4
12	2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

## &lt;現状・具体的な取り組み／課題&gt;

運営会議を実施し、予算等の執行について適宜検討している。  
生徒ひとりひとりの状況を学科会議で報告し、問題点等を共有する。

## 3. 教職員

		評価
13	3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	4
14	3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
15	3-3 教職員評価を行っているか	4

## &lt;現状・具体的な取り組み／課題&gt;

前期、後期の各授業開始前に講師会を開催し、学生の状況(出席、成績を含む)確認、各クラスの授業スケジュール・進め方の確認等、教員全員で情報を共有する。  
 クラススケジュール作成前に学生の現状レベルやニーズに合ったものかどうか、主任教員とクラス担任で検討し、教材開発や教材選定を行う。  
 また、学科会議、勉強会、授業見学などにより教育の質の向上を図る。

## 4. 教育活動

			評価
16	4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
17	4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
18	4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
19	4-4	成績評価は適切に行われているか	5
20	4-5	資格取得の指導体制はあるか	5

## &lt;現状・具体的な取り組み／課題&gt;

カリキュラムは体系的に編成し、成績評価は平常点、中間・期末試験で評価する。平常点に関しては客観的評価のみとし、授業の出席率、課題等の提出率、小テストで評価する。教員の要件・資格は、募集の段階で採用面接や模擬授業を通して行い、常に良質の教師確保に努めている。

## 5. 学校運営

			評価
21	5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
22	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3	学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
24	5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
25	5-5	保護者と適切に連携しているか	5
26	5-6	卒業生への支援体制はあるか	3
27	5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	4
28	5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

## &lt;現状・具体的な取り組み／課題&gt;

年に1回の健康診断を実施する。  
 生活面、学習面についての個別面談を定期的実施する。  
 エージェントに定期的に学習状況を発信し、保護者には半年に1回、通信簿を発信する。  
 学内で進学相談を行い、進学ガイダンスに定期的に参加する。

## 6. 在留管理と生活指導

			評価
29	6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5

実施日：2023年4月1日

30	6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
31	6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
32	6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

警察署の講和を実施する。  
寮やアルバイト先に訪問し、法令に遵守した生活指導を行う。  
入国・在留関係及び生活指導については、母国語で入学時のオリエンテーションで行う。  
ごみの出し方や、自転車に乗る際の交通ルール等日本社会で生活していく上でのマナーについて適宜、指導を行う。

## 7. 学生の募集と受け入れ

			評価
33	7-1	学生の受入方針は定められているか	5
34	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4
35	7-3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
36	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
37	7-5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

信頼関係の確立した仲介機関を介し、入国目的や日本語学習歴を明らかにする入学選考試験を行っている。

## 8. 財務

			評価
38	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
39	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
40	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
41	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取り組み／課題>

学校法人としての財務情報の公開をWEBサイト上で行っている。

## 9. 法令等の遵守

			評価
42	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
43	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	5
44	9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	5
45	9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
46	9-5	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	4

<現状・具体的な取り組み／課題>

今後、自己評価から第三者評価への移行に向けた取り組みを検討している。

## 10. 社会貢献

			評価
47	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
48	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

<現状・具体的な取り組み／課題>

コロナ禍により、社会貢献やボランティア活動を実施できる環境ではなかった。今後、学校の施設を活用した社会貢献や学生ボランティア活動について検討していく。